

## 第 13 回目

2012 年 9 月 14 日 (金曜日)  
18:00 ~ 19:00

元安橋東詰からスタートし本通り、金座街を往復します。毎週金曜に歩きます。

飛び入り歓迎  
槍が降ったら中止します

## 広島 2 人デモ



[http://www.inaco.co.jp/hiroshima\\_2\\_demo/](http://www.inaco.co.jp/hiroshima_2_demo/)

いてもたってもいられなくなった仕事仲間と恥も外聞も捨てて仕事の合間にたった 2 人でも歩く。それが 2 人デモです。黙っていたら社会人としてだけではなく、企業人としても恥。野田首相！あなたは恥を知るノダ！

調査・文責：哲野イサク  
チラシ作成：網野沙羅  
連絡先：sarah@inaco.co.jp



## 作られた「電力不足」は何のため？

「今夏電力不足」は、大飯原発再稼働のためのウソでした。決して NHK や朝日新聞など大手マスコミが報ずるように「節電効果」や他電力会社からの融通電力のおかげで「電力不足」が乗り切れたわけではありません。過去最大需要だった 2010 年のデータをもとに関電管内で 3015 万 kW などと過大な需要を見積もりました。

すでに 2011 年の最大需要は 2784 万 kW だったのです。今夏最大需要は 2681 万 kW (8 月 3 日) でしたから、3.7% 減少したに過ぎません。ですから政府・関電・マスコミは決して 2011 年と比べません。供給側も 2542 万 kW (関西広域連合の試算) と過小に見積もりました。実際には関電管内には、大阪瓦斯の子会社や神戸製鋼所の子会社が電気事業に進出しておりこうした独立系電気事業者からの供給が 500 万 kW 以上もありました。関電は原発なしで 3111 万 kW 以上の供給能力があったのです。

なぜウソをついて大飯原発再稼働をしたかったのか、それは関電・金融界救済のためでした。



黙っていたら “YES” と同じ  
「電力不足」はウソ  
「国民生活を守るため」もウソ

関電・経済界の目先の利益と  
私たちの安全と健康を  
引き換えにはできません  
大飯原発再稼働を止めさせましょう

## 債務超過を恐れる関西電力

関西電力にとって原発再稼働は死活問題です。関電は連結ベースで 1 兆 5298 億円の純資産しかありません。単独ベースでは 1 兆 1800 億円にしか過ぎません。そのうち原発関連の資産は 8900 億円もあります。現在 11 基ある原発がすべて廃炉と決まれば、関電には廃炉費用も使用済み核燃料や核燃料の処理費用も出てきません。債務超過に陥ることは明らかです。これを防ぐには何が何でも、ウソをついてでも、脅しをつかってでも再稼働したいのです。(以下裏面に続く)

## 危険な関電原発

関電の原発はほぼ老朽化しています。現在再稼働している大飯原発 3・4 号機は、もっとも新しく、またもっともトラブルの少ない原子炉ですが、それでも今年 20 年以上経過します。しかし老朽化問題とは別に関電の 3 つの原発は、非常に危険な原発です。大飯原発の 4 つ原子炉はこれから地震の原因となる縦横に走る断層破砕帯の真上に乗っているほか、過去十年間原子炉から出てくるさまざまな核種の放射性物質を液体、気体の形で大量に放出し続けてきました。またトラブル件数 (これは事実上電力会社の申告制なので実際にはもっと多いと思いますが) も数多くありました。事故以前に危険なのです。(以下裏面に続く)

## 老朽化する関西電力の原発

原発名	番号	定格出力	運転開始時期	経過年数	累計トラブル
美浜原発	1号機	34万kW	1970年11月28日	43年	25件
	2号機	50万kW	1972年7月25日	42年	25件
	3号機	82.6万kW	1976年12月1日	38年	25件
高浜原発	1号機	82.6万kW	1974年11月14日	40年	30件
	2号機	82.6万kW	1975年11月14日	39年	28件
	3号機	87万kW	1985年1月17日	28年	10件
	4号機	87万kW	1985年6月5日	28年	10件
大飯原発	1号機	117.5万kW	1979年3月27日	35年	38件
	2号機	117.5万kW	1979年12月5日	35年	31件
	3号機	118万kW	1991年12月18日	22年	2件
	4号機	118万kW	1993年2月2日	20年	1件

経過年数は運転開始年を初年とし 2012 年までの暦年経過年数  
累計トラブル件数は関電の事実上自己申告による。実際はこれよりはるかに多いと考えられる。  
資料出典は「原子力施設運転管理年報」平成 23 年度版

## 危険な関電原発(表面から続き)

驚くのはその放出している放射性トリチウムの量です。トリチウムは海水の中にも自然に存在する放射性物質(これは事実です)だから、人体には全く害がない、と電気事業連合会はこれまで宣伝してきました。しかし、**海水中の分子にわずかに点在するトリチウムと濃度の高い液体の形のトリチウムでは意味が全く違います。**特に2000年以降分子生物学が急速に発達した結果、トリチウムは**人間の体を構成するOH基の結合を破壊**することがわかってきました。決して**安全ではない**のです。今回再稼働した**大飯原発はこの放出トリチウムが10年間で825テラ(兆)Bqと突出して大きい**のです。

また、クリプトン85やキセノン133、ヨウ素133など**毒性の高い希ガス放出も要注意**です。またこれらの核種だけが放出されているとは考えられません。**他のα崩壊やβ崩壊をする危険な核種も原発から出ていると考えられます。**

**この危険と、関電や金融界の利益とを比べるわけにはいきません。ウソで固めた大飯再稼働は止めるべきです。**

### 関電3原発 放射性トリチウム(液体) 放出量

単位:テラ(兆)ベクレル(Bq)

年	美浜原発	高浜原発	大飯原発
2001	17	53	130
2002	18	63	64
2003	23	59	90
2004	16	63	98
2005	15	69	66
2006	14	68	77
2007	20	60	89
2008	18	40	74
2009	23	43	81
2010	13	65	56
合計	177	583	825
総合計	1585テラ(兆)Bq		

### 関電3原発が1年間で放出した希ガス放射性物質(2010年4月~2011年3月)

		希ガス	ヨウ素131
美浜原発	実績値	38億Bq	12万Bq
	管理値	2100兆Bq	7300万Bq
高浜原発	実績値	96億Bq	1万4000Bq
	管理値	3300兆Bq	6200万Bq
大飯原発	実績値	9000億Bq	27万Bq
	管理値	4000兆Bq	1億1000万Bq

※希ガスの明示はないが、クリプトン85、キセノン133が主体と考えられる。  
 ※管理値は規制当局が認めた放出上限値。その数字の高さに驚かされる。  
 ※資料出典は「原子力施設運転管理年報」平成23年度版

### 関西電力 株主構成 (2012年3月31日現在)

株主区分	株主数	比率
政府・地方公共団体	13	12.99%
金融機関	208	28.93%
金融投資家	51	2.04%
他法人	1,647	5.10%
外国法人	476	13.09%
個人	318,007	37.86%

1. 個人のうち約4486万株が関電自己株式である。発行株式の4.80%に相当する。

### 関西電力 主な株主 (2012年3月31日現在)

株主名	持株比率
大阪市	8.92%
関電自己株	4.80%
日本生命	4.57%
日本トラスティ・サービス信託	3.79%
神戸市	2.91%
日本マスタートラスト信託	2.32%
関電持株会	2.04%
SSBT	1.80%
みずほ銀	1.38%
三井住友銀	1.19%
三菱東京UFJ	1.01%
上位計	34.73%

1. 日本トラスティ・サービス信託銀行は信託銀行。三井住友Gの事実上の子会社。
2. 日本マスタートラスト信託銀行は事実上三菱UFJグループの子会社。日本生命が資本参加している。
3. SSBT 0D05 オムニバス・アカウントトリーティは中国系の投資ファンド。香港上海銀行が代理人

出典: 関電有価証券報告書24年度(2012年3月31日現在)

### 関電株価推移(1株あたり)

年月日	終値(円)
2011年2月末	2,146
2011年3月末	1,811
2012年1月末	1,197
2012年5月28日	1,083
2012年6月25日	955
2012年7月16日	708
2012年8月2日	574
2012年9月12日	497

3月11日  
福島第一  
原発事故

6月29日  
大飯原発  
再稼働決定

## 債務超過を恐れる関西電力(表面から続き)

現在関電は3つの原子力発電所に合計**11基の原子炉**を持っていますが、すでに**30年以上経過する原子炉は9基**もあります。特に**美浜原発の1号機、2号機は今年で42年以上経過し廃炉は決定的**です。また美浜の3号機は38年、高浜原発の1号機は40年、高浜2号機は39年、**大飯原発の1・2号機はそれぞれ35年**。特に大飯原発の1・2号機は**トラブル続きで有名で、ほぼ廃炉は決定的**です。

もし再稼働しなければ、関電には最悪の事態が待っています。これを回避するための大飯原発3・4号機の再稼働でした。しかし**証券市場は関電の行く末を冷酷に見通しています。福島原発事故前に一株2146円あった関電株は福島事故のために1811円に下がり**ます。この時点では簡単に再稼働できると見通していました。しかし**2011年末までに再稼働できないとわかるとさらに1197円に落ち込み**ます。6月29日大飯原発再稼働が決定してもさらに下がり続けついに**9月12日の終値は497円と500円を割り込み**ました。

関電の**有利子負債は3兆8500億円**もあります。これに**融資しているのが旧財閥系のメガバンク、日本生命などの大手機関投資家**です。しかもこうした大手金融機関は**関電の大株主**でもあります。関電が債務超過、倒産となれば、彼らも大きな傷手を受けます。これが大飯原発再稼働のからくりです。

### 関西電力 純資産と有利子負債

いずれも該当年度3月31日現在。単位は億円。連結ベース。

	純資産	総資産	有利子負債	連結売上	うち電気事業売上
2010年	17,894	71,166	33,214	26,066	22,936
2011年	18,324	73,101	33,797	27,698	24,199
2012年	15,298	75,213	38,495	28,114	24,299

1. 有利子負債は社債、長期借入金、1年以内に期限到来の固定負債、短期借入金の4項目の合計。関電有価証券報告書平成23年及び24年による。
2. 純資産 = 総資産 - 総負債

### 関西電力 原発関連資産

いずれも該当年度3月31日現在。単位は億円。

	原子力発電設備	装荷核燃料	加工中等核燃料	合計
2010年	3,341	833	4,158	8,332
2011年	3,749	963	4,148	8,860
2012年	3,630	953	4,324	8,907

1. 資産除去債務として原子力発電施設解体引当金その他で4347億円がある。
2. 原子力発電設備は**89%減価償却を終えている**。(有証24 p110)